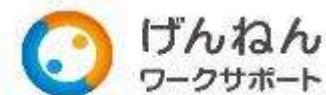


第2分科会:企業における職域拡大、キャリア支援

電子化作業における 効率化のための治具作成

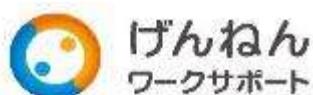
げんねんワークサポート株式会社

○平井 深雪 (業務課課長) ○斎藤 翔 (業務課副長)
岩谷 和樹 (業務課) 成田 邦義 (業務課)



第2分科会:企業における職域拡大、キャリア支援

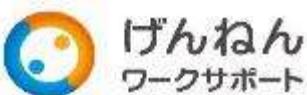
1. 会社概要
2. 組織・要員
3. 障がいのあるスタッフ雇用人数
4. げんねんワークサポートの取り組み
5. 業務の紹介
6. 文書電子化について
7. スタッフ自ら治具作成 [1号機]
8. スタッフ自ら治具作成 [2号機]
9. まとめ



1. 会社概要

げんねんワークサポート株式会社

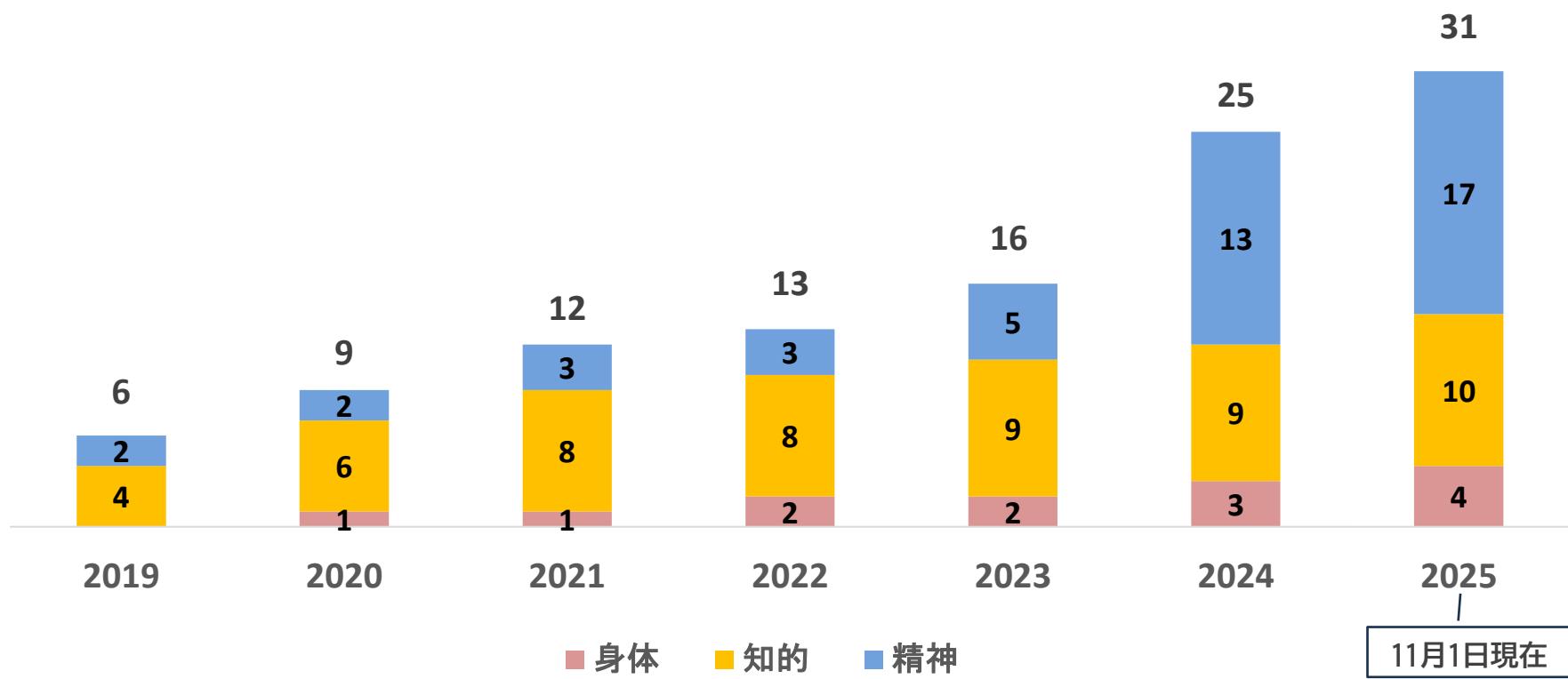
設立	2019年 2月 1日
資本金	1,000万円 (日本原燃(株)100%出資の特例子会社)
代表者	代表取締役社長 林 芳昭
本店所在地	〒030-0801 青森県青森市新町二丁目2番11号 東奥日報新町ビル4階 TEL 017-762-7724
主な業務	文書電子化、文書廃棄、清掃、パソコンデータ消去、印刷、 郵便物集配・配送 等
従業員数	42名 (2025年11月1日現在)



2. 組織・要員

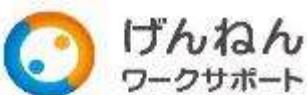
取締役 (非常勤2名)	社長	常勤
	業務部	部長1名 (職場適応援助者)
監査役 (非常勤1名)		部長補佐1名 (職場適応援助者)
		課長1名 (職場適応援助者)
		課課長2名 (職場適応援助者 2名 指導員兼務)
		指導員6名 (職場適応援助者 5名)
業務課		<p>担当31名 (障がいのあるスタッフ) (2025年11月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい 4名 (13%) ・精神障がい 17名 (55%) ・知的障がい 10名 (32%) <p>平均年齢 29.2歳 平均勤続年数 2年7ヶ月</p>

3. 障がいのあるスタッフ雇用人数



2019年度 6名（知的4名、精神2名）でスタート

現在は、精神が過半数を超えていている（身体4名、知的10名、精神17名）



4. げんねんワークサポートの取り組み

基本的な考え方

「良いところを評価する」「自立性を育てる」

障がい特性や業務への適性を考慮した業務付与

【スタッフに対する関わり方】(指導員にお願いしていること)

- できない理由を探すのではなく、どうやったらできるようになるかの視点でスタッフと向き合う
- 各自の業務目標を達成するためには何が足りないのか、どのような育成をすべきか検討する
- 障がいがあっても品質は妥協しない

5. 業務の紹介



文書電子化

パソコンとスキャナーを使って文書を電子データに変換



清掃

執務室・会議室・応接室等の掃除機かけ、テーブルふき、ほこり取り、ゴミ収集等



パソコンのデータ消去等

パソコンのハードディスクを専用の機械を使って破壊し、データを消去



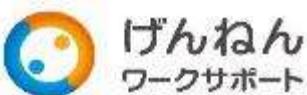
印刷

名刺、封筒、カレンダー等の印刷



事務補助

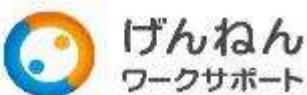
郵便物集配、シュレッダー、事務用品補充、ファイルクリーニング、メール便封筒作成、封入封緘、記念品袋詰め、アンケート入力等



6. 文書電子化業務について

【文書電子化の現状】

- ・親会社との2025年度委託契約納品数は250万枚となっている
- ・この納品数を達成するため、1カ月当たり約21万枚の納品を目標としているが、この納品数を確実に完了させることは、厳しい課題である
- ・電子化する文書は統一されておらず、A0サイズの図面や60mのチャート紙など多岐にわたっており、時間を要するものもある
- ・日々の進捗状況を表にして見える化、納品状況をグラフ化する等、担当スタッフと進捗状況を共有



6. 文書電子化業務について

(1) 電子化の工程について

工程は3つに分かれており、文書や図面を電子化する「スキャン」
⇒原本とスキャンデータに相違がないか1枚1枚確認する「照合」
⇒間違いがないか最終チェックする「検品」
の流れ作業になっている



スキャン作業 ⇒



照合作業 ⇒



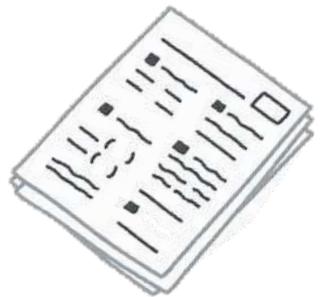
検品作業



6. 文書電子化業務について

(2) 使用するスキャンについて

メインスキャナー



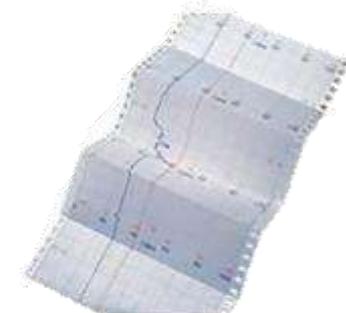
A4サイズ～A3サイズの
書類

フラットベッドスキャナー

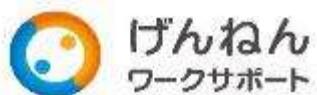


パンフレットや
製本された書類

大型スキャナー



チャート紙
(長尺)

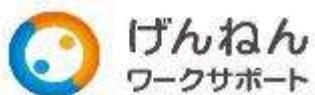


6. 文書電子化業務について

(3) 大型スキャナーの外観

KURABOU Smart LF Sci





7. スタッフ自ら治具作成 [1号機]

◇治具を作った経緯

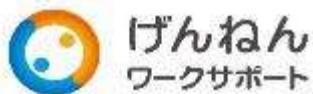
- ・長尺書類をスキャンした後、折り畳むため
2人体制で作業

⇒折り目に合わせて蛇腹に畳められれば、
1人で作業できるのではないかと考え、
受け皿を作成



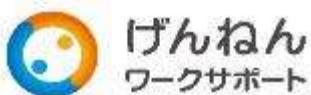
[1号機] 治具作成前





[1号機] 治具作成後

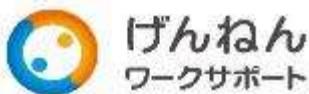




7. スタッフ自ら治具作成 [1号機]

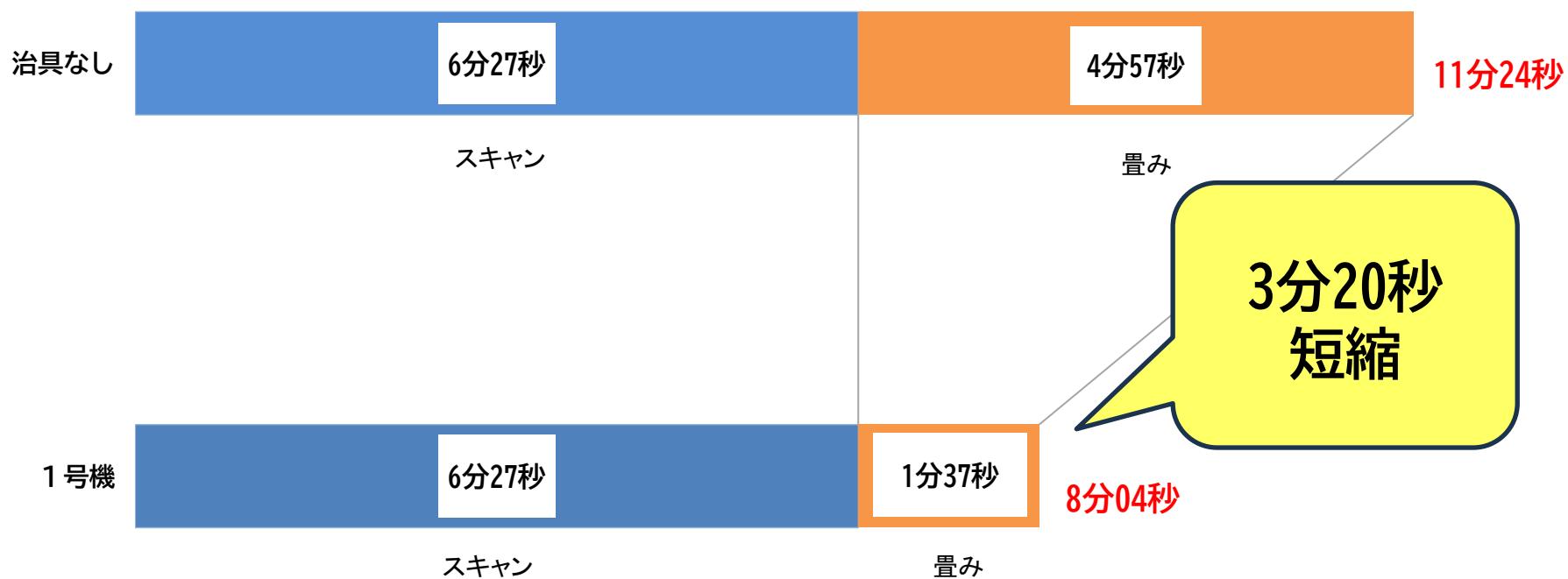
◇結果

- ・書類が蛇腹に畳めるようになったことで、
作業効率がアップした
- ・2人体制から1人で作業できるようになり、
電子化作業全体の効率化に繋がった

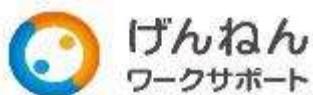


作業時間の変化 [1号機]

長尺作業時間(治具1号機)
※6mのチャート紙を使用し比較



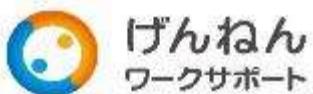
治具を活用することで置む時間が大幅に短縮された



7. スタッフ自ら治具作成 [1号機]

◇感想

- ・どうすれば1人体制ができるか考え試行錯誤の末、うまく受け皿を作ることができて嬉しかった。
- ・他の業務でもよりよい方法を考え、工夫を凝らすようになった。（断裁機の目印、危険個所の注意喚起、ワゴン導入の提案）
- ・自分が1号機を作ったことにより、**他のスタッフが2号機を作るきっかけ**となり、アイディアを出し合うことでよりよいものができる。

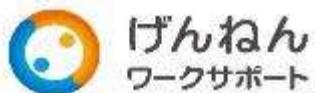


8. スタッフ自ら治具作成 [2号機]

◇治具を作った経緯

- ・長尺書類をスキャンした後の書類が、自然に蛇腹状に折り畳める時と折り畳めない時がある
- ・スキャンを続けるうちに書類がずれてしまう
- ・畳み直す手間がある、床に落ちる、後ろに行き過ぎる

という問題があった



8. スタッフ自ら治具作成 [2号機]

[2号機] 治具1

「段ボールで壁作成・紐あり」 「ストッパーあり」



壁作成、紐あり

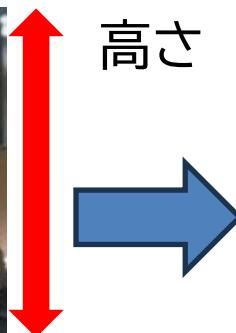


ストッパー

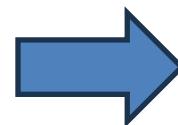
8. スタッフ自ら治具作成 [2号機]

[2号機] 治具2

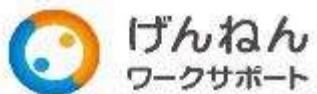
「段ボールの高さ修正」「いす変更」



テーブル上に
収まる

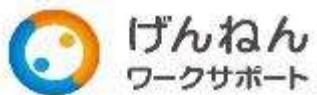


いす変更



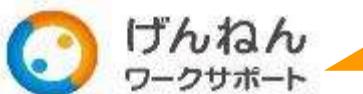
[2号機] 治具作成前





[2号機] 治具作成後

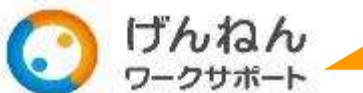




8. スタッフ自ら治具作成 [2号機]

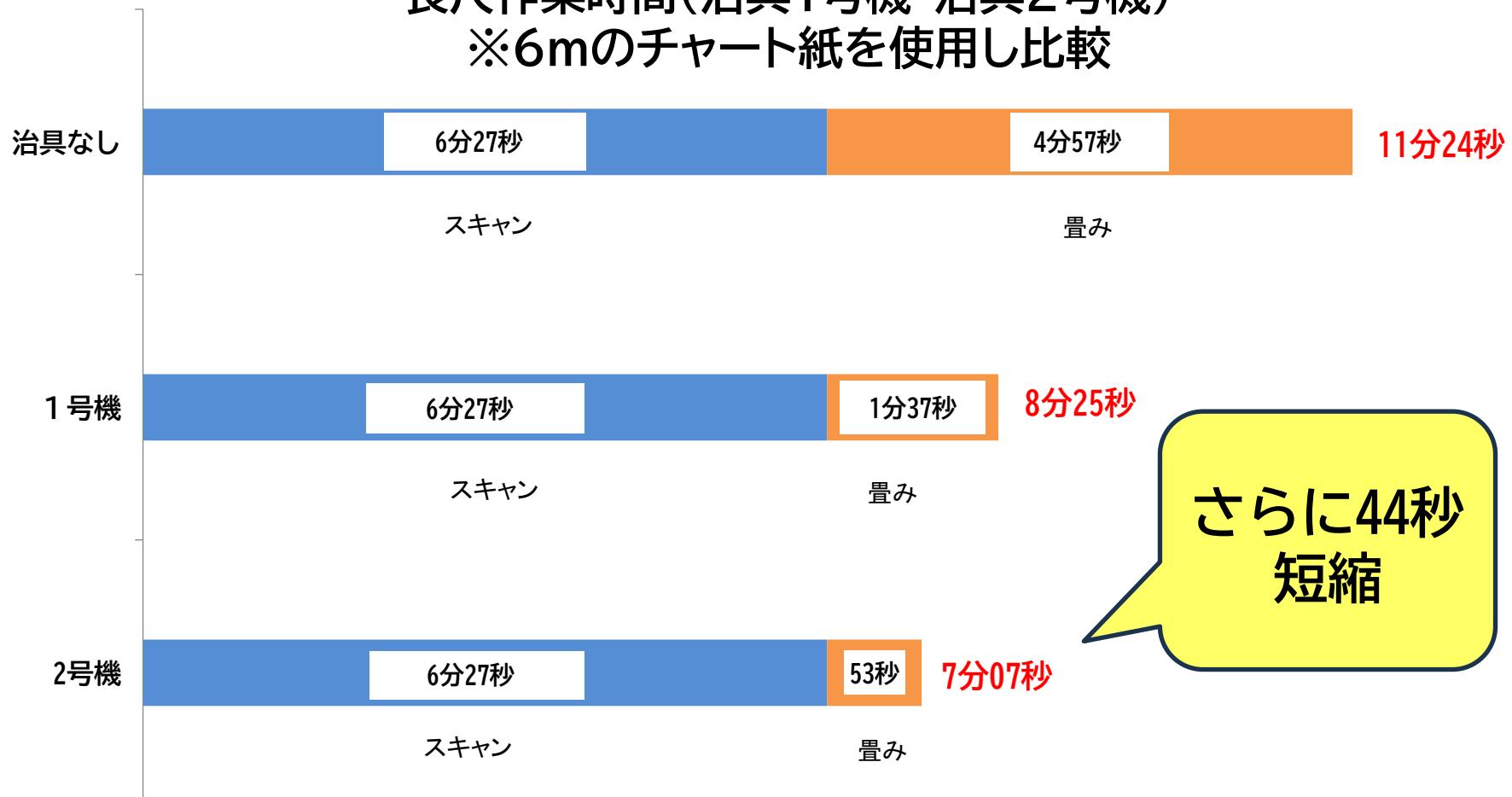
◇結果

- ・紐を手前に引くことで自然に蛇腹ができるようになり、**畳み直す作業が不要になった**
- ・ストッパーを付けたことで書類がずれることがなくなり、**誰がやってもずれず、再スキャンで取り直すことが減少した**
- ・今までタイヤなしの椅子を使用していたが、タイヤありの椅子を使用することで**可動域が広がり、やりやすくなつた**

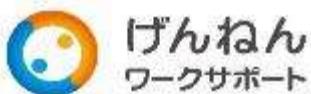


作業時間の変化 [2号機]

長尺作業時間(治具1号機・治具2号機)
※6mのチャート紙を使用し比較



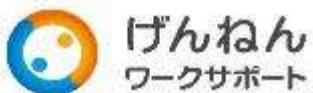
治具を改良することで置む時間の短縮、再スキャンの減少により、電子化作業全体で見ると、さらに効率化に繋がり、併せてスタッフのストレス軽減にも繋がった



8. スタッフ自ら治具作成 [2号機]

◇感想

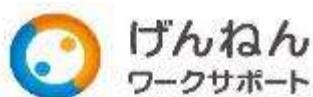
- ・紐を手前に引くことで自然に蛇腹ができるようになり、**畳み直す作業が不要になった**
- ・ストッパーを付けたことで書類がずれることがなくなり、**誰がやってもずれず、再スキャンで取り直すことが減少した**
- ・今までタイヤなしの椅子を使用していたが、タイヤありの椅子を使用することで**可動域が広がり、やりやすくなった**



◇社内表彰制度

業務改善表彰

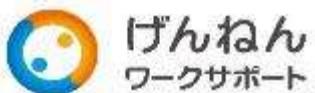




まとめ

「良いところを評価する」「自立性を育てる」

- ・私たち指導員からの促しやヒントからではなく、作業の効率化にはどうすればいいかを**自分ごととして捉え、スタッフが自ら考え方行動**
- ・自分も作ってみようと**波及効果**あり
仲間と意見を出し合い、改善
- ・**自立性を尊重し、成長し続けられるようサポート**



ご清聴ありがとうございました



げんねんワークサポート株式会社